

インフルエンザの経過記録(保護者記入)

_____年 組 氏名_____

インフルエンザは、体調により重症化したり、思わぬ合併症を引き起こしたりすることがあります。健康状態をよく観察してください。また、出席停止期間中(発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過するまで)の検温とその結果の記録にご協力ください。

* 発症日(発症日当日)は、病院に受診した日ではなく、インフルエンザ様症状が始まった日です。発症日を 0 日と数え、その翌日から5日間経過し、かつ解熱した2日を経過する期間が出席停止の期間になります。必要があれば、病院受診時に、医師に発症日について相談することをお勧めします。

* 再登校する日の朝まで記入し、登校した日に提出してください。

記録カード

| 月 日 (曜日) | 体 温 | 呼吸器症状 (症状があったら ○ をつける) | | | その他 (様子を記入) |
|--------------------------|------|------------------------|-------|-------|----------------|
| | | 鼻水・鼻づまり | のどが痛い | せきが出る | |
| 発症日 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 月 日 () | . °C | | | | |
| 再登校日の 朝の体温 月 日 () | . °C | | | | |

～ 出席停止期間を経て、異常がない場合に再登校を学校長が許可します。～

抗インフルエンザ薬の効果で熱が下がっても、インフルエンザウイルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザでは一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります。(二峰性発熱)。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えることで、インフルエンザの蔓延を防ぐことができます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。